

# さんぱく 94

日本産業技術史学会々報 2020.7

事務局より  
2020年度年総会について  
一般講演の概要  
第19期役員選挙結果  
理事会議事抄録  
新入会員の紹介

## 事務局より

**今年度の年総会** 9月12日(土)(見学会)、13日(一般講演、シンポジウム、総会)の日程で、富岡製糸場(群馬県富岡市)にて開催します。新型コロナウイルス感染症の拡大懸念は払拭されていません。急遽、中止する場合がありますので、学会ホームページで、最新の情報をご確認の上、ご参加ください。

**会費納入のお願い** 前年度までの会費未納の方は、納入をお急ぎ下さい。会誌『技術と文明』22巻2号とともに会費の請求書とゆうちょ払込用紙(払込料金学会負担)をお送りしております。学会運営の安定のためご協力をお願いします。会費納入に関する問い合わせは [office@jshit.org](mailto:office@jshit.org) へ。

年会費：一般 7,000 円、学生 5,000 円

振込先：ゆうちょ銀行 00980-3-21800

りそな銀行千里北支店 普通 2477167

りそな銀行への振込では所定の手数料を差し引いて送金してください。2020年度年会費については、後日別途請求します。

## 2020年度（第36回）年総会について

東京大学・鈴木淳教授ならびに国立科学博物館産業技術史資料情報センター・亀井修副センター長の  
お世話で、9月12日(土)、13日(日)に富岡製糸場にて開催します。保存修理工事を終え10月から公開  
される予定の西置繭所(国宝)をはじめ非公開部分を見学できる得難い機会です。ご参加ください。

一般講演の他、シンポジウム「産業技術史から見た富岡製糸場」を開催します。建物、機械、乾燥  
施設の3つの論点からご講演いただきます。

富岡製糸場 <http://www.tomioka-silk.jp/>  
群馬県世界遺産センター <https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

◇年総会、見学会への参加は、添付(同封)申込書にて事前にお申し込みの上、8月15日までに、  
資料代1,000円を年会費振込口座(1ページ参照)に振込んで下さい。申込者には9月上旬に講演要  
旨集を郵送します。

◇年総会に欠席する方は、添付(同封)の委任状の提出をお願いします。

◇申込み、委任状の提出、お問い合わせは学会事務局まで。電子メール ([office@jshit.org](mailto:office@jshit.org)) または  
郵便にてお願いします。

◇年会会場へのアクセスは6-7ページを参照してください。

◇9月12日(土) 見学会 12:55 上信電鉄上州富岡駅前集合

13:00～ 群馬県世界遺産センター見学(入場無料)、徒歩移動、旧葦塚製糸場見学

14:00～15:30 富岡製糸場案内付き見学(90分)、17:00まで自由見学可能

※富岡製糸場入場料が必要です。富岡製糸場見学の途中参加はご遠慮ください。

◇9月13日(日) 一般講演、シンポジウム、総会(富岡製糸場内西置繭所にて)

10:00～ 受付(入場料必要)

10:30～10:40 開会挨拶

10:40～12:00 一般講演4件

12:00～13:00 昼休み(休憩時間に場内の見学ができます)

13:00～14:20 一般講演4件

14:30～16:30 シンポジウム「産業技術史から見た富岡製糸場」

司会: 亀井修

報告: 水田丞(建造物)、鈴木淳(乾燥施設)、齊藤有里加(自動繰糸機)

16:30～17:30 総会

17:30 解散

◇新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、以下、ご了承ください。

・参加者にはマスクの着用をお願いするとともに、参加者間の距離に注意していただきます。検温など富岡  
製糸場が実施する対策や、消毒など実行委員会がとる対策にもご協力ください。

・特例措置として、今回、オンライン発表・参加を認めることとしました。方法につきましては、後日、参  
加申込者にお知らせします。

・懇親会(情報交換会)は実施しません。

・昼食は製糸場付近の飲食店でお願いします。近くにコンビニエンスストアはありません

感染症の急拡大など不測の事態には開催を中止する場合がありますので、必ず、学会ホームページで最新の情報を確認した上で、参加してください。

## 一般講演の概要

◇一般講演（発表 15 分、質疑応答 5 分）

### 午前

10:40-11:00 近世における土性認識と技術的意識について—漢籍知識の生産技術的援用／堀尾尚志  
『尚書』禹貢篇に示された土性分類が、日本近世において作物生産に援用された。それを伝える農書から、生産現場における実用性と認識の一般性への志向を見るとともに、近世における在地的技術学の性格を論じる。

11:00-11:20 日本における酒林の成立と初期形態／石村眞一  
酒林の成立と初期形態について、大陸で既に行われていた「火入れ」の技術導入と新酒の目印という視点から検討する。本発表においては、日本国内の文献史料と絵画資料、さらに中国の目印との比較も含め、考察を進める。

11:20-11:40 樺太産寒天製造史—紛争から和解へ—／中村弘行  
冬季厳寒の樺太では、内地と異なり、寒天原料採取者と寒天製造者は同一であった。その特殊事情に特許が絡み、紛争となり、解決までに時間を要した。先行研究の問題点を指摘し、紛争から和解に至る全体像を解明する。

11:40-12:00 鉄鋳滓煉瓦の発明と国内への技術導入に関する研究／市原猛志  
九州北部各地で見られる非焼成材・鉄鋳滓煉瓦は、1866年独オスナブリュック郊外でFritz.W.Luermanが発明した。本研究はこの素材の発明要因と製造方法、官営八幡製鐵所への導入経緯を考察する。

### 午後

13:00-13:20 対米輸出がもたらした飛騨地方の曲木家具業の進展—昭和10（1935）年～昭和14（1939）年—／○中川輝彦、麓 和善  
大正期に生まれた飛騨地方の曲木家具業は、昭和10（1935）年から、対米輸出を開始すると、以後大きく発展した。本稿では、対米輸出や米国取引先との交流が、飛騨地方の曲木家具業にもたらした内容を考察する。

13:20-13:40 佐渡社寺建築の細部意匠と伝播／濱田 晋一  
佐渡の社寺建築については、木鼻や虹梁などに施される彫刻類の細部意匠が特徴的であり、全国的にみても特異である。そこで、本研究ではその細部意匠と伝播について、現地調査をもとに具体的に発表する。

13:40-14:00 Hick Hargreaves 社文書で発見された初期日本紡績工場の設計図面／○平井直樹、阿部武司、玉川寛治  
Bolton Archives and Local Studies Service 所蔵のHick Hargreaves 社文書の中に、大阪紡績会社第1号～第3号工場を含む初期日本紡績工場の設計図面を多数発見したので、紹介する。

14:00-14:20 我が国の産業技術振興に及ぼした(旧)通商産業省工業技術院研究所の役割(Ⅲ)～化学・材料・資源系研究所の発展(仮称)～／○小林直人、竹中啓恭、亀山哲也、請川孝治  
本報告では旧工業技術院研究所の中で従来から化学・材料・資源系研究を担ってきた旧大阪工業試験所(創立1918年)、旧陶磁器試験所(創立1919年)、旧燃料研究所(創立1920年)についてその歴史を概観する。

## 第 19 期(2020、2021 年度)役員選挙結果

第 19 期役員選挙(信任投票)の結果、立候補・推薦された下記に示す理事ならびに監事候補者全員が信任されたことを認めます。

日本産業技術史学会選挙管理委員長 井上尚之(押印略)  
同選挙管理委員 田口直樹(押印略)  
同選挙管理委員 株本訓久(押印略)

新役員一覧(任期：2020 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

### 理事

北海道	(候補者なし)
東北	石村眞一
関東	亀井修、鈴木淳、橋本毅彦
中部・北陸	田中一郎、夏目賢一、麓和善、馬淵浩一
近畿	天野雅敏、平野恭平、廣田義人、武藤夕佳里
中国・四国	市川浩
九州	(候補者なし)

### 監事

全国	臼田松男、梅本良作
----	-----------

有効投票数 67 票

## 2019 年度第 3 回、2020 年度第 1 回理事会議事抄録

### 2019 年度第 3 回理事会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためメールによる書面審議を実施し、2020 年 3 月 30 日、以下を決定した。

#### 報告その他

#### 1. 本会運営の状況(財務・会費納入状況等)について(廣田理事)

2019 年度の収支状況については、3 月 17 日現在、収入 1,054,134 円に対して、支出は 700,160 円で、差引 353,974 円の黒字となった。

会費納入状況については、会員 126 名のうち、2019 年度まで完納 96 名(完納率 76%)、1 年未納 22 名、2 年滞納 5 名、3 年以上滞納 3 名。11 月発送の会誌に会費納入依頼状および滞納者への督促状を同封した。

#### 2. 本会運営の状況(会員の動向等)について(廣田理事)

現在の会員数は 126 名で、2019 年度の新規入会者 5 名、退会者 6 名である。

#### 3. 会誌(冊子版)の編集及び発行予定について(田中理事)

会誌への投稿・査読状況について説明があった。次号は年会開催前の発行を目指しているが、現状はかなり微妙である。

#### 4. 会誌(電子版)の編集及び配信予定について(石村理事)

会誌(電子版)については、先年の秋以降、まったく投稿がない。世界的には電子版が主流で、若い世代の会員が増えれば、必然的に論文掲載のスピードが求められ、電子版の優位性が出るものとする。

#### 5. 第33回学会賞について(廣田理事)

1月15日締切で学会賞その他各賞の推薦を受け付けたが、推薦はなかった。

#### 6. 第19期役員選挙の結果(廣田理事)

1月15日に立候補・推薦を締め切り、1月20日神戸山手大学にて、井上尚之、田口直樹選挙管理委員により届出書類を開封し、立候補と推薦を確認した。定数に満たず、信任投票とすることとし、2月5日に会員に対して公示し投票用紙を発送した。3月15日消印有効で投票を締め切り、3月17日新阪急ホテルで井上尚之、田口直樹選挙管理委員によって開票した。その結果、理事・監事の候補者全員が信任された。

#### 7. 2020年度(第36回)年総会について(鈴木理事)

2020年6月20、21日、富岡製糸場(群馬県富岡市)にて開催予定であるが、新型コロナウイルスの影響から、シンポジウム講演者の依頼まででストップしている。開催が難しいと懸念している(追記:後日、6月の開催を延期することとした)。

### 議事案件

#### 1. 2020年度(第36回)年総会の開催の可否、およびその対応について(麓会長)

深刻な新型コロナウイルス感染症拡大の状況下、6月の開催は困難な状況にあり、中止あるいは延期を考える必要があるという意見が出ている。中止とした場合は、総会での審議事項である「2019年度事業報告(案)ならびに決算報告(案)」「2020年度事業計画(案)ならびに予算(案)」「第19期役員選挙結果」などの承認をどのような形で行うかが問題となる。延期なら、開催時期、開催場所を改めて考え、いつ、どのような形で会員に連絡するかも検討するべきである。

年会の発表申込期限が3月末となっており、すでに申し込みもあるので、至急決定の上、会員に連絡する必要がある。

#### 2. 2021年度(第37回)年総会の開催場所について(夏目理事)

金沢市での開催を検討している。金沢市中心部のしいのき迎賓館もしくは、今年オープン予定の国立工芸館での開催を検討している。

#### 3. 組織拡大について

石村理事からご意見をいただいた。以上

### 2020年度第1回理事会

メールによる書面審議にて理事会を開催し、2020年6月3日、2020年総会の開催について以下を決定した。

#### 全般

・9月13日(日)に総会・シンポジウム・一般講演を実施する。懇親会(情報交換会)は中止し、見学会の催行は富岡製糸場との協議の上、判断する。

・開催にあたっては、参加者の距離に注意し、マスクの着用、消毒、換気等の対策を講じる。

・8月初めに開催の最終判断を行う。開催できないと判断した場合は、メールないし郵送で2019年度事業報

告案・決算報告案、2020年度事業計画案・予算案、第19期役員選挙結果を配信、配布し、メールかはがきで賛否の回答を得る。シンポジウムは中止とする。

- ・開催が可能な場合は、その前日9月12日(土)に理事会を開催する。

#### 一般講演

- ・講演申込みを再開し、6月末まで追加申請を受け付ける。
- ・オンライン上での参加・発表も認める。
- ・オンライン参加に際し、冊子体の講演要旨集を事前に送付するため、要旨集の原稿締切を早める(8月10日とした)必要がある。
- ・中止する可能性があるため、一般講演募集の際、「年総会が中止になれば」、「講演要旨集の刊行をもって発表したものとみなす」、あるいは「HP上での発表を以て発表したものとみなす」等の一文を入れる。以上

## 新入会員の紹介 (2019年9月「さんぱく」92号掲載以降)

山田真悟 (デザイン史、プロダクトデザイン、インテリアデザイン)	クリナップ株式会社開発企画部デザイン課 116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22  yamada-s@cleanup.jp/ shingo-yyy@hotmail.co.jp	03-3810-5932
豊原直樹 (航空技術史)	独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館 605-0931 京都市東山区茶屋町 527  kosen11130@gmail.com	
井上敏孝 (土木技術史・台湾史・社会科教育・教科教育学)	673-1421 加東市山国 2006-13 兵庫教育大学職員宿舎 5-514 常磐会学園大学 547-0021 大阪市平野区喜連東 1丁目 4-12 winfinitytkk@msn.com /inoue@sftokiwakai.ac.jp	090-9256-7821 06-4302-8880

## 年会会場へのアクセス

### ●東京から富岡市まで

東京駅(上越・北陸新幹線)～高崎駅(乗換 上信電鉄)～上州富岡駅(約95分)下車、徒歩15分

※上記は乗り換え等の時間は考慮しておりません(上信電鉄の乗車時間は約40分間です)。

※高崎駅での上信電鉄への乗り換えは、JR高崎駅の改札を抜けて、西口より外へ出て左手へ進みますと、上信電鉄の改札があります。



日本産業技術史学会々報「さんぱく」94 ISSN 0912-8476

発行日 2020年7月10日

発行・編集 日本産業技術史学会

大阪市旭区大宮5丁目16番1号

大阪工業大学知的財産学部 廣田研究室